

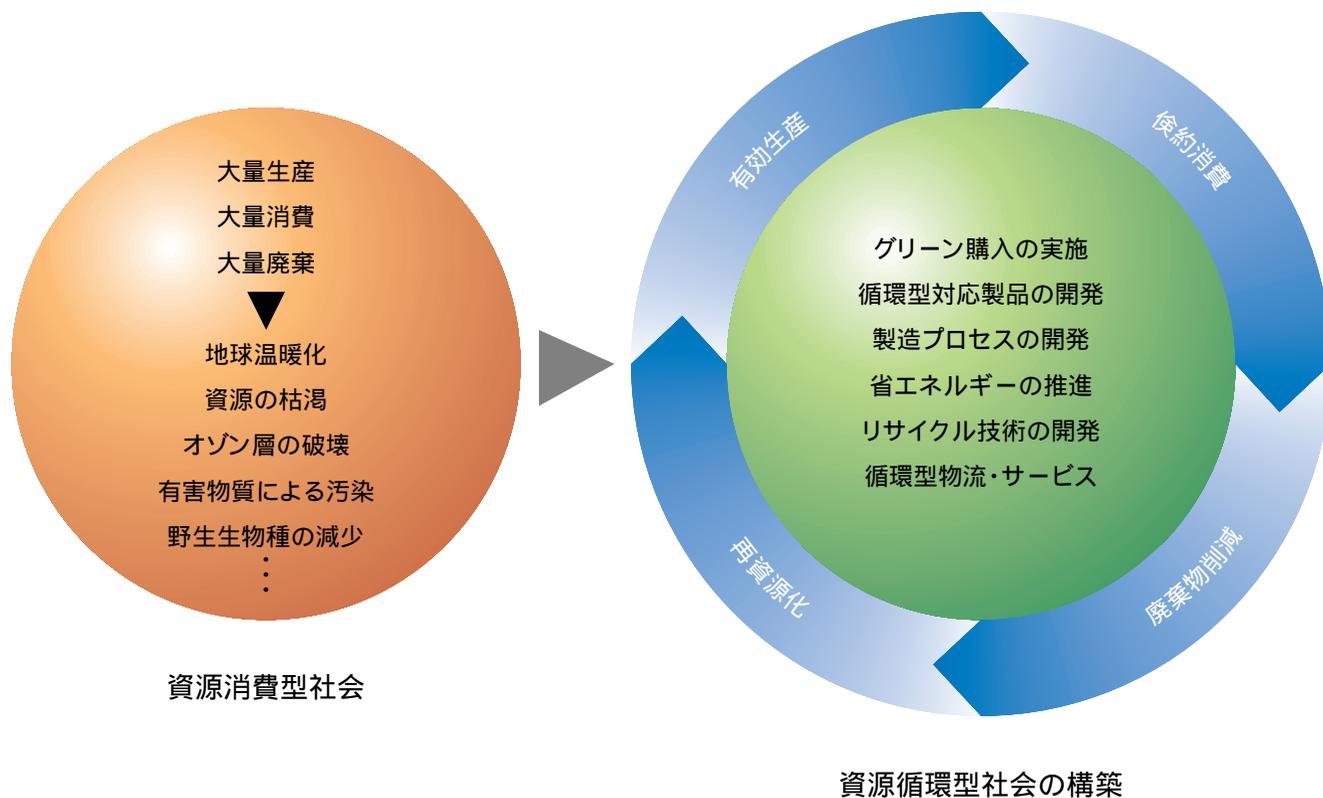
TDKの取り組み

理念をカタチにするために。 TDKの全社的取り組み

資源循環型社会の実現に向けて

地球環境保全のための社会的課題の一つが、従来の資源消費型社会から資源循環型社会への転換です。資源循環型社会とは、製品の長期使用・長寿命化による資源消費の抑制と、廃棄の削減、さらには廃棄物のリユースやリサイクルを積極的に行う社会のことであり、すでにその後押し

をする新たな法律の制定や規制の強化、国際的な枠組みづくりが進められています。TDKではこれらの流れに積極的に対応し、資源循環型社会構築のために、企業としての社会的責任のもと、さまざまな課題に取り組んでいます。

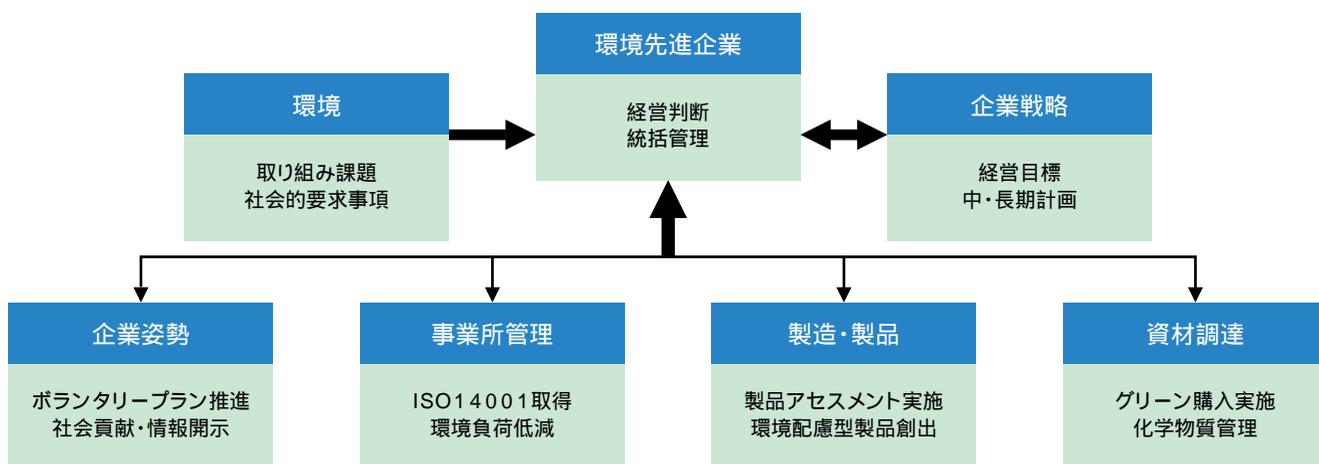


重点取り組み課題	施策
1.環境配慮型製品の開発	製品アセスメントの実施 / グリーン購入の実施 / LCAの推進
2.廃棄物の削減	廃棄物の再資源化及び再利用の促進 / 社内リサイクルの推進 / 廃棄物発生量の削減
3.事業所の省エネルギー	生産工程の効率化 / 空調の省エネルギー促進 / エネルギー源の転換
4.化学物質管理	自主管理基準の設定及び強化 / 有害物質の製品及び生産工程からの削減

環境先進企業として

資源循環型社会にふさわしい企業経営を行うには、より広範囲にわたって地球環境保全活動を展開しなければなりません。なおかつ、それらの施策が個々に行われるのではなく、有機的・機能的な連携を図りながら、より高次元で企業経営と調和させる必要があります。TDKが実践する「環境先

進企業」とは、企業姿勢/事業所管理/製造・製品/資材調達それぞれの地球環境保全活動を統括管理し、相乗効果によって最大の効果を発揮できるようにするとともに、地球環境との調和を企業理念として取り入れ、地球環境保全活動に配慮した経営判断が下せる企業のことです。



環境マネジメントシステム(EMS)の導入

企業は、生産活動に伴いさまざまな環境負荷を発生させています。TDKでは、事業所の運営にも、単に法規制を遵守するだけでなく、より厳しい内部基準を設定して環境負荷の軽減に努めています。さらにTDKでは、事業所の地球環境保全活動を体系化し、効率よく機能させ、継続的な改善

につながるよう、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001認証取得にもいち早く対応しています。また、本社監査を実施し、全社レベルでの環境管理システムの平準化と向上を推進しています。

TDKの主な環境負荷(1998年度実績・国内のTDK本体事業所の集計による)

原料の調達	資源エネルギーの調達	主な環境負荷の発生量	主な廃棄物の発生量	主なリサイクル量
主原材料 6万t	用水 421万m ³	排水 351万m ³	汚泥 4,438t	452t
	電力 44万MWh	CO ₂ 80,000t-C	廃酸 1,685t	49t
	燃料 4.2万kl	NO _x 440t	廃油 1,347t	13,889t
		SO _x 34t	廃プラスチック 938t	2,861t